

【補助事業概要の広報資料】

補助事業番号 23-8
補助事業名 平成23年度 自転車乗用に関する調査研究等 補助事業
補助事業者名 (財)日本サイクリング協会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

スポーツ用自転車を中心とした自転車乗用環境の改善方策に関する調査研究及び、自転車の需要拡大、サイクリング愛好者人口の拡大を図るための広報事業を行ない、もって自転車等機械工業の振興に寄与する。

(2) 実施内容

① 自転車乗用に関する調査研究事業

(URL) <http://www.j-cycling.org/about/research.html>

自転車乗用機会の拡大を目的とし、今年度は「地域活性化に資するサイクリング活用方策の調査研究」として、サイクリングを地域振興やまちづくりに生かそうとする自治体や関係団体等に有用な情報提供と方策提言を目的とする事例調査と分析研究を行ない報告書にまとめ、関係各所に配布した。

具体的には、テーマを「地域活性化に資するサイクリング活用方策」とし、全国各地の公的機関等が発行している「サイクリングマップ」に焦点を当て、観光庁の協力も得ながら収集した221点のサイクリングマップについて分類、分析、評価をおこない、望ましいサイクリングマップのあり方をまとめるとともに、自転車乗用環境のあるべき姿について考究しようとした。またサイクリングを地域活性化に結びつける新たな可能性として「ガイド付きツアー」に注目し、実際にツアーに参加しながら調査をおこない、その現状と課題についてまとめた。さらにマップづくりとイベント開催を一体的におこなうコンセプト会社、観光業を担うオーナーたちが行政を巻き込んでおこなう観光エリア開発、行政区分をまたいで広域的に実施される自転車イベント、自転車メーカーが質の高いサイクリストの育成をめざしておこなうサイクリングイベント、質の高いレンタサイクルの事業、地域が一体となっておこなう立ち寄りスポット運営等の事例について、コラムにまとめ、これらを報告書にして紹介した。

所の公園等の集客施設、及び本協会の賛助会員、関係団体に送付した他、本協会主催のサイクリングイベントにおいて配布した。

サイクリングジャパン写真

平成 23 年度夏、秋、冬、春の各号表紙



連載のサイクリングコースレポート

例：秋号では伊勢路を紹介



連載の「素晴らしき自転車人」

例：シクロクロスマスターズ世界チャンピオンでオランダ在住の荻島美香さんを紹介



4号にわたり自転車通勤をベースにした自転車交通ルールの詳細解説を連載



競輪補助事業の紹介を「ここにも発見、RING!RING!プロジェクト」として連載。

東日本大震災後の2011夏号では、日本赤十字社、秋号は公益社団法人フィランソロピー協会、冬号は工学院大学工学部の介護補助パワーアシストスーツ、春号は一般社団法人社会応援ネットワークの各競輪補助事業を紹介した。

例：夏号



2 予想される事業実施効果

全国のサイクリングマップを収集し、調査の結果、サイクリストの視点で作られていないマップもあったが、今後、報告書の提言により、サイクリストに有用なサイクリングマップへの改善が期待される。

また、スポーツツーリズムが進展するに伴い、サイクリングを観光施策に取り入れようとする地方自治体が増加することが予想されるが、ガイド付きツアーや、レンタサイクルの在りかたの提言を参考にする自治体が出てくることが予想される。

3 本事業により作成した印刷物等

- ①平成23年度自転車に関する調査研究事業報告書
—地域活性化に資するサイクリング活用方策の調査研究—

(URL) <http://www.j-cycling.org/about/research.html>

- ②「CYCLING japan」2011夏号no.466
- 〃 〃 秋号no.467
- 〃 〃 冬号no.468
- 〃 〃 2012春号no.469

(URL) <http://www.j-cycling.org/about/cj.html>

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： (財)日本サイクリング協会 (ザイニホンサイクリングキョウカイ)

住所： 〒107-8423

東京都港区赤坂1-9-3日本自転車会館3号館5階

代表者： 会長 谷垣禎一 (タニガキサダカズ)

担当部署： 業務第1部 (ギョウムダイイチブ)

担当者名： 部長 小林博 (コバヤシヒロシ)

電話番号： 03-3583-5628

FAX： 03-3583-5987

E-mail： jca@j-cycling.org

URL： <http://www.j-cycling.org>